

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	1,534,178	流動負債	724,716
現金及び預金	484,218	工事未払金	654,318
受取手形	187,860	未払金	1,334
完成工事未収入金	259,811	未払費用	4,985
未成工事支出金	45,228	預り金	75
前払費用	319	1年内支払引当金	2,789
未収入金	46,740	未払法人等	13,671
親会社預け金	510,000	未払消費税等	30,759
		賞与引当金	16,782
固定資産	174,394	固定負債	6,143
有形固定資産	132,044	長期未払金・役員退職	561
建築物	83,307	リース債務	5,582
構築物	1,281	負債合計	730,860
備品	342	純資産の部	
土地	41,109	株主資本	977,713
リース資産・有形	12,446	資本金	20,000
有形リース償却累計	△6,443	資本剰余金	25,000
無形固定資産	1,711	その他資本剰余金	25,000
ソフトウェア	161	利益剰余金	932,713
電話加入権	358	利益準備金	5,000
リース資産・無形	1,490	その他利益剰余金	927,713
無形リース償却累計	△297	別途積立金	160,000
投資その他の資産	40,638	繰越利益剰余金	767,713
投資有価証券	24,776		
長期繰延税金資産	15,748		
その他投資等	114		
		純資産合計	977,713
資産合計	1,708,573	負債及び純資産合計	1,708,573

損 益 計 算 書

〔 令和 4 年 4 月 1 日から
令和 5 年 3 月 3 1 日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		
完成工事高	1,983,973	
警備事業売上高	441,897	
その他事業売上高	1,925	2,427,795
売 上 原 価		
完成工事原価	1,841,188	
警備事業原価	431,537	
その他事業原価	1,183	2,273,908
売 上 総 利 益		
完成工事総利益	142,784	
警備事業総利益	10,360	
その他事業総利益	741	153,886
販売費及び一般管理費		87,552
営 業 利 益		66,334
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	723	
受 取 配 当 金	1,461	
雑 収 入	744	2,930
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	501	501
経 常 利 益		68,763
税引前当期純利益		68,763
法人税及び住民税	18,037	
事業税	5,839	
法人税等調整額	△508	
当 期 純 利 益		45,395

株主資本等変動計算書

〔 令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで 〕

(単位：千円)

	株 主 資 本					株主資本 合 計	純 資 産 合 計
	資本金	資本剰余金	利 益 剰 余 金				
		その他 資本剰余金	利益 準備金	その他利益剰余金			
			別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	20,000	25,000	5,000	160,000	740,883	950,883	950,883
剰余金配当額					△18,565	△18,565	△18,565
当期純利益					45,395	45,395	45,395
当期末残高	20,000	25,000	5,000	160,000	767,713	977,713	977,713

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

未成工事支出金・・・・・・・・・・個別法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産・・・・・・・・・・定率法（なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっている。）
（リース資産を除く）

②リース資産

（所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産）・・・・・・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とした定額法

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による貸倒実績率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上している。

② 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上している。

(4) 収益及び費用の計上基準

原則全ての工事について履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益を認識している。また、履行義務の充足に係る進捗率の見積の方法は、発生原価に基づくインプット法による。

ただし、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、履行義務を充足した時点で収益を認識している。

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

①リース取引の処理方法

リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

②消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

78,868千円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数 400株

(2) 剰余金の配当に関する事項

① 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
令和4年6月29日 定時株主総会	普通株式	18,565	46,413	令和4年3月31日	令和4年6月29日

② 基準日が当該事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議予定	株式の種類	配当の原資	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
令和5年6月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	22,697	56,744	令和5年3月31日	令和5年6月29日

(本計算書類に記載の金額は単位未満を切り捨てて表示している。)